

青梅線東中神駅自由通路整備及び駅舎橋上化に伴う工事説明会 質疑応答(要旨)

日 時:平成27年7月4日(土)18:00~20:00

場 所:富士見丘小学校(体育館)

参加者数: 110名

【自由通路について】

Q: 景観に関し、新しい駅舎の形が東中神駅周辺の街に生きていくのか疑問である、今ある駅舎も趣^{おもむき}があり魅力があるものを、このような形としてしまうと街から浮いてしまい、建物は良くても街全体の活性化にはならないのではないかと。

A: 今の木造駅舎はとても趣^{おもむき}があるのは十分に認識しております。新しい建物をつくると、どうしても近未来的になってしまうことから、なるべく現在の木造駅舎のイメージを継承できるような形で考え、なおかつ立川基地跡地の開発とともに東中神駅だけが浮いてしまわず、調和が保てるように考えてまいりましたので御理解願います。

【北側市道昭島7号一方通行規制について】

Q: 駅北側一方通行は工事完了後も相互通行に戻らないのか。ただでさえ北側市街地は一方通行ばかりで不便である。

A: 一方通行とする北側の道路について交通量調査を実施した結果、朝の通勤通学時間帯は非常に多くの方が通行していますので、市としても安全上歩道を設置する必要があるという判断ですが、道路がクランクしている箇所もあり、路線バスも通行している箇所に歩道を設置すると道路幅員が狭くなることから工事完了後も一方通行が望ましいと考えております。また、北側市街地の交通規制については今後、街並みが変わっていく中で状況を見ながら昭島警察と協議をしながら検討してまいりたいと考えております。

Q: 一方通行はどこから始まる計画なのか。

A: 一方通行については富士見丘小学校南側の交差点から一方通行となりますので、富士見丘小学校東側の道路を北から南へ進んだ場合は交差点で右左折は可能です。

【北口臨時改札について】

Q: 北口臨時改札は、朝と夕方の限られた時間しか開いていないが、工事期間中は大きく迂回をしなければならず不便であるので北口臨時改札の開いている時間帯を広げてほしい。

A: 臨時改札口が開いている時間帯はお問い合わせや異常時に対応できるような体制を組

んでおりますが、限られた人数の係員で運営しているため、工事期間中の増員は困難であります。したがって、駅舎橋上化に伴う時間帯の拡大は考えておりません。

この不便を解消するための自由通路整備、駅舎橋上化でありますので御理解いただきたいと思っております。工事期間中は、一部迂回でのご利用となりご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。今後、工事期間中の期間だけでも時間延長については要請をしております。

Q：北口臨時改札は券売機が無く Suica（スイカ）カードしか対応していない、Suica（スイカ）カードを持っていない人は南口に回らなければならないので、北口臨時改札に券売機を設置していただきたい。

A：今回の駅舎橋上化に伴う工事期間中に券売機を臨時改札口に設置する予定はありません。この不便を解消するための自由通路整備、駅舎橋上化ですのでご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

【整備工事について】

Q：工事期間中の仮囲いの高さはどのくらいの高さになるのか。

A：工事期間中の仮囲いの高さは3 m程度を予定しております。

Q：工事期間中の仮囲いにより駅ホームの幅が一部狭くなるが、朝のラッシュ時間帯の安全対策はどのような計画なのか。

A：駅ホーム上の仮囲いにより最も狭い箇所が1.5 mとなっておりますが、全て1.5 mとせず、所々に待避所的に広いスペースを確保する予定としております。

【立川基地跡地との関連性について】

Q：立川基地跡地に整備される新交通広場との連続性についてはどのように計画されているのか。

A：自由通路北口東側から新交通広場の間に、アンダーパスとなる昭島都市計画道路3・2・11号がありますので、その側道の歩道は、駅から交通広場への連続性を有するよう、施工者であります東京都に要請しております。

Q：新しい東中神駅の北口から国営昭和記念公園昭島口までの動線はどのような計画なのか。

A：立川基地跡地の開発により整備されます交通広場や道路を通過して、国営昭和記念公園昭島口に行けるようになります。